

第100回(平成29年6月度)ウォーキング同好会の報告

豊かな自然に触れながら須々万の歴史と魅力が発見出来る「須々万ロマンコース」のウォーキングを天候に恵まれた6月17日(土)に実施。

当日は、須々万公民館→高樋地区→亀甲竹の自生地→飛龍八幡宮→沼城橋→保福寺→沼城址→山崎伊豆守自刃の地→須々万公民館 までのコースを田園風景からの涼しい風を浴び、由緒ある「飛龍八幡宮」や大内陣営と毛利元就とが戦った「沼城址」などの歴史にも触れしながらのウォーキングを実施。 ☆100回目は第1回目と同じコースで開催(第1回：2008年7月に実施)

- 10時00分：須々万公民館に集合し、高樋地区に向けて出発。
- 10時30分：田園からの涼しい風を浴びながら亀甲竹の自生地に到着。暫く、鑑賞後、出発。
※亀甲竹は、目印となる看板もなく知らずに通り過ぎてしまう場所にあります
- 10時55分：歴史を感じる「飛龍八幡宮」に到着。樹高が約34mで天然記念物の「大玉スギ」他を鑑賞。
- 11時05分：休憩後、沼城址方面に向けて出発。保福寺、沼城址、山崎伊豆守自刃の地などを見学。
- 11時50分：須々万公民館まで戻り、隣の農村環境改善センターにて昼食。
- 12時10分：100回記念の集合写真を撮り、現地を解散。(本日の万歩計：10,000歩)

以上、次回のウォーキングも宜しくお願い致します。

AYSA交流啓発・健康福祉部会

(ウォーキング同好会) 世話人：長棟章



ウォーキング中



ウォーキング中



ウォーキング中



参加者の皆様



ウォーキング中



参加者の皆様



保福寺(菩提寺)



亀甲竹



参加者の皆様



山崎伊豆守自刃の地



ウォーキング中



飛龍八幡入口



沼城主周辺の石像



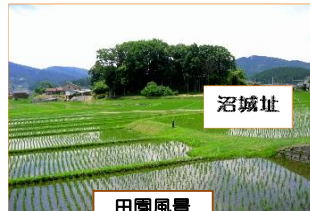
田園風景



沼城橋



大玉スギ



沼城址

田園風景



沼城主の墓



飛龍の延命水

〈参考〉：須々万ロマンコースの看板について

- 亀甲竹(キョウカチク)：孟宗竹の突然変異で一節おきに交互に膨らんで亀甲模様になった竹。
- 沼城址：毛利元就の防長制圧において最大の激戦となったところがここ沼城の戦い。陶氏の重臣であった城主山崎伊豆守興盛は必死に抵抗したが、力尽きて伊豆守父子は自刃。この戦いで籠城していた男女1500人余は討たれたといわれている。(1557年3月3日沼城は落城) <保福寺は沼城主の菩提寺>
- 飛龍八幡宮：南北朝時代の後円融天皇の時代(14世紀後半頃)に京都男山から降臨し社殿を建立したことに始まる。境内の大玉スギは樹高34mの県内で最も大きい樹木。(昭和5年天然記念物に指定)

次回(第101回)のウォーキングは、7月15日(土)に実施予定です



亀甲竹